

11月18日(水)、第11回「若手経営者の会」研修会 初のWEB開催



11月18日(水)午後1時より、第11回「若手経営者の会」研修会を東京都中央区築地・電気工事会館3階を開催本部として、WEB会議システムのCisco Webex meetings(シスコ・ウェビックス・ミーティングス)を利用して開催した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、初のWEB会議システムを使用した開催となり、全国より30名の若手経営者及び後継予定者の方々に自主的にご参加頂いた。全日電材連からは、忍田勉会長、次世代プロジェクト委員会より小島寿之担当副会長、小林義昭委員長がオブザーバーとして出席した。

今回の研修内容は、第一部で、経営委員会主催の「経営戦略としてとらえる事業継続(BCP)策定講座」でも



講師を頂いている、事継舎の佐藤雅信氏を迎え、「新型コロナウイルス感染拡



大で顕在化した経営課題」と題して講演を頂いた。コロナ禍で起きている全国

各地の現象を報告頂き、コロナ禍でも元気に経営している会社や対応が有効であった意見、テレワークなど緊急対応を見てきた課題点を交えながら、ウィズコロナ時代をどう生き抜くか、どのような職場、会社にして、企業の発展を遂げていくべきかを問題提起頂いた。

第2部では、ブレイクアウトセッション機能を使用して、5つのグループに分かれてグループディスカッションを行い、テーマ①コロナ前と現在の商環境、経営的变化、テーマ②これからどうなる？ どうする？（Withコロナ時代の働き方と経営）について、各地の情報交換を交えながら、約1時間討論を頂いた。

会終了後、参加者全員に行ったアンケート結果では、「世の中の変化に対して、自社でも変化について行けるよう対策が必要と感じた」、「部署や拠点で情報共有する事が大切で、社員のレベルアップ・ベクトルを合わせる事で、誰でも代理の人が出来れば、経営基盤の強化も図れる」、「テレワークの本格実現には電材のみならず、建設業界全体での変革が必要だと思えます」、「新型コロナウイルス

ウイルス感染者が多発している都会とロカル地域の意識の違いを感じました」、「大人数で開催した研修が久しぶりで、画面越しながらFace to Faceで話し合えて良かったです」などの回答が数多く寄せられた。

次回以降の開催は左記の通り

第12回若手経営者の会研修会

【日時】令和3年3月4日(木)
 【時間】13:00～18:30
 【場所】品川プリンスホテル
 【テーマ】

- ①「ITの最先端の活用状況について」
 ……講師：エバンジェリスト（IT伝道師）中山五輪男氏
- ② ITによる業務改革のご提案……………パティオシステムズ株式会社
- ③ グループディスカッション……………「各社のIT活用方法」

※詳細案内は1月初旬案内予定。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日程や会場、内容等を変更する場合がございます。ご了承下さい。